

令和4年3月4日
総合政策局環境政策課

第2回グリーンインフラ大賞「国土交通大臣賞」を決定しました！

グリーンインフラ官民連携プラットフォームでは、第2回グリーンインフラ大賞について、全国から応募のあった27件の取組事例の中から、会員の皆様の投票等により各部門において合計4件の「国土交通大臣賞」を決定しました。

表彰式は、「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム 第3回シンポジウム」（令和4年3月14日開催）において実施する予定です。

○第2回グリーンインフラ大賞「国土交通大臣賞」

防災・減災部門

大谷海岸の砂浜再生まちづくり事業

【応募者】大谷地区振興会連絡協議会
大谷里海づくり検討委員会

【概要】津波で消失した砂浜の再生や海の見える環境整備、賑わいの場の復活を目指し、当初の防潮堤計画を大きく変更。行政と住民が協議し、住民案をベースに砂浜から後背地までを一体的に整備。対立構造をつくらず、地域コミュニティの醸成を図りながら砂浜の保全・再生に努め、良好な砂浜環境と景観を創出。



生活空間部門

「Green Bind」みどりが束ねる暮らしとまち (コンフォール松原・松原団地記念公園)

【応募者】独立行政法人都市再生機構 東日本賃貸住宅本部、草加市、(株)プレイスメディア、(株)アーバンデザインコンサルタント、(株)ポリテック・エイディディ

【概要】団地の建替に伴い、地域の環境資産を保存した新しいみどりのネットワークを形成するとともに、雨水流出抑制機能を持つレインガーデン・修景池を整備。併せて、多様なオープンスペース配置により、多世代交流の場を醸成。



都市空間部門

OMIYA STREET PLANTS PROJECT

【応募者】(一社)アーバンデザインセンター大宮、WOODSMART、(有)秀花園、さいたま市、中央通り新栄会、芝浦工業大学、UDC078

【概要】流通型都市緑化「ストリートプランツ」によって都市空間の緑化を進めつつ、販売等で街路植栽を流通させる社会実験を実施。沿道店舗や地域の植木生産者が協力し、販売や協賛で得られた資金を維持管理費へ充当するなど、持続可能な仕組みづくりを通じて、歩行空間の緑視率の向上、滞在行動の増加を実現。



里山グリーンインフラネットワーク

【応募者】里山グリーンインフラネットワーク

【概要】耕作放棄された谷津(台地縁の小規模な谷)において樹林の管理や湿地の再生を行い、生物多様性の保全、水質浄化、治水の機能を向上させるなど、地域の自然をグリーンインフラとして活用する取組みについて情報共有する場を提供。多数の市民団体、研究者、行政官が参加し、勉強会や共同作業を通してネットワークを強化し、流域の生態系管理とまちづくりの活動を展開。



※各受賞事例の詳細(ポスター・紹介動画)については、下記サイトからご覧いただけます。

【グリーンインフラ官民連携プラットフォームサイト(グリーンインフラ取組事例、技術・手法の募集)】

<https://gi-platform.com/project/#practicalExample>

○表彰式

表彰式は、「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム 第3回シンポジウム」(WEB開催)において実施する予定です。

【表彰式の日時】令和4年3月14日(月)午前(予定)

表彰式の詳細・視聴方法については、後日下記サイトでご案内します。

【グリーンインフラ官民連携プラットフォームサイト】

<https://gi-platform.com/>

サイトはこちら↓



GI 官民連携 PF

検索

〈問い合わせ先〉

国土交通省総合政策局環境政策課 担当：和田、大上(おおうえ)、田畑

TEL：03-5253-8111(内線24331、24334)、03-5253-8262(直通) FAX：03-5253-1550